

一般国道399号「伊達橋」の早期復旧に関する要望

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、伊達市においては、住宅や道路・橋梁・河川等の土木施設に甚大な被害が生じております。特に一般国道399号の一級河川阿武隈川に架橋されている「伊達橋」の被害は非常に深刻であり、現在通行止めを余儀なくされております。

この一般国道399号は市の中心部を通り、大動脈である国道4号やJR伊達駅、各種公共施設や医療機関など、地域生活には欠かせない拠点を結ぶ伊達市にとって最も重要な路線であります。

「伊達橋」の通行止めにより、一刻を争う緊急・救急車両や、1日に約1万4千台にも及ぶ一般交通が他の橋へ迂回せざるを得ない状況となっており、市民生活の安全安心や通勤・通学、買い物、物流などの社会経済活動に深刻な影響が出ています。

令和4年4月8日には国の権限代行による復旧が決定され、現在調査を行って頂いているところですが、地域生活拠点を結ぶ「伊達橋」の重要性を踏まえ、市民の命と生活を守る道路ネットワークを確保するため、国ご当局の緊急かつ重点的な復旧による早期開通と架け替えなど恒久対策により、再度被災しないための改修を講じていただくことを強く要望します。